広報 ＮＯ15　（2025年７月1日発行）　～ともに　紡ぎあい　育ちあう～

わかば

社会福祉法人わかば会

盛岡市西松園３丁目１９－６
発行責任者　鈴木　禮子
☎：０１９－６６１－３１０３
fax: ０１９－６６２－５１２１
https//www.wakaba-kai.or.jp

法人運営施設
・わかば保育園
・北松園風の子保育園
・本宮保育園
・うえだ保育園
・宇宙学童クラブ

夏まつり　本宮保育園

ＮＨｋ朝のテレビ小説「あんぱん」は、子どもたちが大好きなアンパンマンの原作者やなせたかしとその妻のぶをモデルにしたドラマです。

戦後の混乱期、妻のぶが教師を辞して新聞社に職を求める場面では面接官がなぜ教師を辞めたのかと問うていました。のぶは「子どもたちを戦争に仕向けた間違った教育をした。教壇に立つ資格がない。敗戦で価値観がひっくり返り信じていた正義は間違っていた。今度こそ間違えないよう自分の頭で考えひっくりかえらない確かなものをつかみたい」と答えていました。

私は「わかば会」初代の理事を務められた故吉田六太郎先生を思い出しました。先生は、自分を「ウソつき教師」と言い、戦前の教科書に墨を塗った「ウソつき教科書」で戦場に子どもたちを送り、１人も返ってこなかったと痛苦の経験を語り、これからの若い教師に自分のような轍を二度と踏ませないと戦後の教育に関わってきた方です。

戦後８０年２１世紀の現代、あろうことか力づくで他国をねじ伏せる、あってはならないことが起きています。軍事力の競い合いは戦争への道です。過ちを繰り返さないとした先人の思いを受け継ぎ、子どもたちに平和な社会を残さなければ・・・

社会福祉法人わかば会
理事長　鈴木禮子

子どもの権利として保育・幼児教育の無償化を

2019年に成立した改正「子ども・子育て支援法」によって、同年10月から保育・幼児教育のいわゆる「無償化」が実現しました。

とは言え、この「無償化」は対象が極めて限定されているだけでなく、その財源に消費税の増税分を充てるという消費税頼みの場当たり的なものでした。

私の目には、権利としての義務教育の無償化とは異なり何か中途半端で慈恵的な施策に見えて仕方がありませんでした。現実的には「何も無いよりましとは言えますが。

私の違和感はどこから来るのか。そこには二つの問題があるように思います。

一つは、保育・幼児教育施策がその始まりから財源（論）を前提に優先順位を議論させられてきた経緯があり今もそこから抜け出せていないこと。

二つ目は、保育・幼児教育を子どもの権利として、そして保護者・国民の権利として位置付ける視点やその実現に向けた運動が弱かったのではないかということです。

今や、国際条約である「子どもの権利条約」の下で我が国においても「子ども基本法」が制定され、その実現に向けて「子ども家庭庁」が設置される時代なのです。

加えて、義務教育学校の「給食費」の無償化や高校教育の「授業料」の無償化が当然視される時代なのです。

こうした時代の進展を踏まえれば、保育・幼児教育も子どもの成長・発達を保障する権利として、そして保護者・国民の生活・労働を保障する権利としてともに実現されなければならないものなのです。そしてそれを保障するのが国の第一義的責任なのです。

以上の観点に立った運動を皆さんと一緒につくっていくことが、保育・幼児教育の無償化への近道であり早道なのです。意外と「夜明け」は近いかも！

岩手県保育連絡会
会長　新妻二男

わかば保育園５歳児　田植え

保育所への確かな支援を

先ごろ「人口減少時代、保育所に求められること」と題して、奈良女子大学名誉教授中山徹さんの講演を聞く機会がありました。

氏は、出生数が1990年から2015年の25年間で22万人の減少が2015年から2024年の9年間で32万人の減少となり、2022年を境に保育所利用者が減少し、かつてない事態が進んでいる。今後もこの傾向が続き、保育所が子育て支援にどうかかわるのか、いま必要な政策は何かとお話しました。

国は、この難局を公立保育所の統廃合・民営化で解決しようとしているが、めざすべきは最低基準の大幅な改善であるとしました。

例えば100人定員の保育所の利用者が30％減少し70人になっても、最低基準（保育士数、建物面積）を変えることで運営費を同じにする。つまり現状の予算を維持することで保育環境の大幅な改善ができるとし、国への改善を求める運動を提起しました。

保育所としても0～2歳児の保育料無償化など子育て支援の抜本的な改善を求めるべきとしました。

新役員紹介

2025年６月末日をもって今までの役員が任期満了となり、このたび新しい役員が決まりましたので紹介します。また、退任される役員の皆様には長い間、法人発展のためにご尽力いただきましたことに心より感謝申し上げます。

理事長	鈴木　禮子
常務理事	佐藤　秀子
理　事	三田村　あみこ
	大野　眞男（新任）
	帷子　ルリ子
	菊池　綾子　（新任）
監事	渕向　ちえ
	金子　靖美（新任）　（敬称略）

退任された理事・監事

理事　鈴木　浩太郎・小田島　弘・瀬川　浩明
監事　吉田　絹子　（敬称略）

理事会の動き

＊**181回理事会**（2024・9・26）
○2024年度９月補正予算
＊**182回理事会**（2024・12・12）
○うえだ保育園建設時の借入金一括返済
○盛岡市法人指導監査指摘事項について
＊**183回理事会**（2025・3・25）
○2025年度事業計画と当初予算
○2024年度３月補正予算
＊**184回理事会**（2025・6・7）
○2024年度事業報告
○2024年度決算の承認
○評議員の選任候補者の推薦
○役員（理事、監事）の選任候補者の推薦

○給与規定の一部改正
＊**185回理事会**（2025・6・30）
○理事長の選任について
全ての議案が満場一致で承認されました。
＊**2025年度の重点事業**
・わかば保育園の休日保育の中止
・わかば・風の子保育園合同による土曜保育の実施
・ＩＣＴ化の推進
保育士の事務負担軽減
ペーパレス化への転換

上記の重点事業は職員の週休二日制の実施など働き方改革の一環として取り組みます。
保護者の皆さまにはご理解とご協力をお願いします。

財務報告

法人資金収支計算書
（自）令和６年４月1日（至）令和７年３月31日

勘定科目			予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
事業活動による収支	収入	保育事業収入	604,856,000	604,593,097	262,903
		経常経費寄附金収入	214,000	204,148	9,852
		受取利息配当金収入	95,000	91,770	3,230
		その他の収入	16,154,000	16,231,021	△ 77,021
		事業活動収入計(1)	621,319,000	621,120,036	198,964
	支出	人件費支出	492,660,000	481,786,956	10,873,044
		事業費支出	48,551,000	46,367,159	2,183,841
		事務費支出	36,213,000	34,422,237	1,790,763
		支払利息支出	143,000	142,835	165
		その他の支出	8,255,000	8,282,450	△ 27,450
		事業活動支出計(2)	585,822,000	571,001,637	14,820,363
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		35,497,000	50,118,399	△ 14,621,399
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	298,000	297,700	300
		施設整備等収入計(4)	298,000	297,700	300
	支出	設備資金借入金元金償還支出	49,728,000	49,728,000	0
		固定資産取得支出	3,690,000	3,682,469	7,531
		固定資産除却・廃棄支出	192,000	191,400	600
		施設整備等支出計(5)	53,610,000	53,601,869	8,131
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△ 53,312,000	△ 53,304,169	△ 7,831
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	6,719,000	6,714,126	4,874
		その他の活動収入計(7)	6,719,000	6,714,126	4,874
	支出	積立資産支出	5,146,000	5,093,848	52,152
		その他の活動支出計(8)	5,146,000	5,093,848	52,152
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		1,573,000	1,620,278	△ 47,278
予備費支出(10)				—	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)			△ 16,242,000	△ 1,565,492	△ 14,676,508
前期末支払資金残高(12)			172,556,020	172,556,020	0
当期末支払資金残高(11)+(12)			156,314,020	170,990,528	△ 14,676,508

園児募集

産休明けからの０才児保育支援児保育、延長保育を行っています。

入園児童数（7月1日現在）

わかば保育園	７４名
風の子保育園	６２名
本宮保育園	１３２名
うえだ保育園	１０５名
宇宙学童クラブ	４３名

職員募集

盛岡市内でも保育士不足が深刻です。わかば保育園勤務の保育士を募集しています。詳細は面談にて

連絡先　わかば保育園
電話　019―661-3103

法人研修＆公開保育 2024年度

ジェンダーから学ぶ「生きやすさのヒント」と題して　講演会　1/11

リズム運動・公開保育　11/13
松園地域でわかば・風の子保育園4・5才児合同の公開保育

わらび座の方を講師に　1/29
鬼剣舞の歌と踊りと太鼓を学ぶ

あとがき

朝、わかば保育園のうさぎの門扉を開けると夢中になって遊ぶこどもたちの姿が飛び込んできます。

だんご虫を探す子、砂場で山を作っている子、泥遊びをする子等など子どもたちからエネルギーをもらい一日が始まる幸せを感じます。松園地域は少子化が進み０歳児の入所が減少。同時に保育士不足の影響もあり厳しいスタートになりました。

風の子保育園・園庭で遊ぶ

子どもたちの安心安全が守られ、子どもによりそう保育をと誠心誠意がんばっている保育士の努力に頭が下がります。

それにしても保育士の処遇改善が進まず、認定子ども園と比べても配置基準に格差があります。せめて認定子ども園と同様の基準をと願うばかりです。（礼）

おひさまキッチン利用者･年間1,173人

社会福祉法人わかば会は、地域貢献事業の一環として子ども食堂「おひさまキッチン」を支援しています。

おひさまキッチンは、東松園二･三丁目町内有志が子どもの貧困問題が深刻化する中で、一念発起し子ども食堂をたちあげました。現在はフードパントリーと子どもたちに手作り弁当を配布しています。開設8年目を迎え誰でも利用できる場所としてかけがえのない存在になっています。

2024年度は、子ども478人、子育て世代218世帯、高齢者等477人、累計1,173人が利用しました。

最近はコメ不足で苦労していますが、農水省の備蓄米が手配でき、小分けして配っています。